

Date: 2019 / 9 / 28

Name: 橋本 隆史

みなさんの話を聞いて、本当におもしろいと感じました。  
私が話した内容は、デザイン的観点で、少し~~多~~ふかみの  
な視点だと、みなさんの話を聞いて~~面白くない~~。ふじかえがは、  
というのは、“Home”というものが、超個人的~~な~~  
経験~~から~~から、スタートしたとしても、普遍的に  
な~~り~~てものが“あじあき”、~~面白くない~~<sup>おもしろ</sup>します。  
むしろ、個人的な経験を とひいてみえてくることが  
おもしろいのかも知れません。

**HOME**  
in Tokyo

Date: 2019 / 9 / 24

Name: Hana Matsuo

みなさんのお話を聞いて、

自分の考えについてより深く考えることができました。

言葉にしてみるということは大切だと思いました。

でも、みなさんバラバラのテーマなような感じがしつつも、どこかでつながっているのを感じました。

そうして、カワ藤先生の「フツウの人こそ面白い」というのは、本当にそうで、ひとりひとりの人生と考えていることが深くすばらしいと思いました。

ここに参加している人々が考えるhomeがどう変化してくるのか、記録してみたいとも思いました。

(ドキュメントする人をドキュメントするのは...?)

**HOME**  
in Tokyo

Date: 2019 / 9 / 28

Name: 西井 彩

海外在住経験が<sup>あ</sup>って、あるいは海外から日本に  
来て、自分のアイデンティティに違和感のある人、  
自分が越してきた街を home と思えない人等、  
移動によって自分の home について考える人の  
多々の中で、私はどちらかというと「あつと関東に  
いること」「都会の人間であること」にコンプレックス  
があるという、ちよとねじれた考え方を  
している人間なのかなと感じました。それとも  
共感の声もいくつかいたたいて、案外目を向け  
られることの少な.. 「マジョリティであること  
か?」みたいなものについて調査していけ  
たらいいなと思います。

**HOME**  
in Tokyo

Date: 2019 / 9 / 28

Name: 田中 翔貴

本日は皆さんの話を聞きながら、考えていました。

自分にとっての HOME は まだ定義されているのですが、  
定義されない ライトな HOME のまで良いのかと感じました。

最終のアウトプットは思い浮かんでおりましたが、小さな事が  
始まると思います。

この段階で、皆さんの考えや思いを聞くことが  
は何か意図しているのか気になりました。

**HOME**  
in Tokyo

Date: 2019/ 9 / 28

Name: 夕乃マコ

一言で言います。

素晴らしい問題意識。

7700-7.811

前前々々々

面白かった。

もう私も。あとは

始末済みという感じなの

**HOME**  
in Tokyo

Date: 9 / 28 / 2019

Name: 牧野岳

同じことに感じて感じる、Home感も人により異なる  
と今回思いました。都会と田舎の対比の話がありましたが、  
僕の場合は行たことのない田舎でも、訪ねてみると  
どこか懐かしい感じがして、都会よりHome感があると思  
ってしまいます。(東京育ちなのに) 都会は確かに、  
自分の家ではあるけれども、人との関係や優(士か  
金銭関係に置き代わるといえると思ふ時もあります。

Youtubeer ばかりですが、自分で自ら実験してみる  
スタイルも面白いなと思いました。

**HOME**  
in Tokyo

Date: 28 / 09 / 2019

Name: 又イ

今回みんなの「ホーム」という定義は自分が体験していること、part じゃないではなく、今も将来もくることがないような感じとして、「ホーム」が移り変わらなくても happening のは start point で何か変化があるとでもおもしろいと思いました。

ものから見るとのは実際に色々な考え方が重なり合っていることは映像家のかげとあるとおもしろいと感じました。特にルネッサンスや ~~その~~ インタクトについて、ホームじゃないではなくその人の人脈や歴史を表現していることはやっぱりその ~~時~~ みんなも同じ (beyond culture, beyond language / gender / age) なんだという x 感を感じたいと思います。

お互い自分のことをはっきりと express できなくなると感じて、また質問を <sup>聞</sup>く <sup>こ</sup>ま <sup>に</sup> するようにがんばります。

**HOME**  
in Tokyo

Date: 2019 / 9 / 28

Name: 木高本 晴加

「至んがりとした状態」でのぞみましたが、今日は皆さんの考えがたくさんきけて本当に面白かったです。とにかく頑張って下さい！が大事だと思います。自分自身のことを冷静にみまきかけとしても映像を撮~~撮~~ってみたい、という気持ちに切り替えました。と同時に、日々の中で面白いと感じたことが違和感を言て記録していくことで今日書いた皆さんの言台につながっていく気がしたので、日々アンテナを張り上げて生きようと思います。



Date: 2019 / 9 / 28

Name: 小池 理奈

各々の 'Home' という感覚を知る本読会。

次の2 自分の 'Home' を考え直す本読会だった。

それをふまえて、私にと、このHomeは書け。

"思い出しの濃度" でどこをさがしていることがおぼく。

高校の帰りにほぼ毎日？は買、こたせがインゲンとか！

馬場の22本は決めたところしか通らないとか！

泣きながらある"この" 5人に見られた馬場前のカラオケの入り口とか。

そう考えると、京中京川には、私の 'Home' になる

いんじんの思い出の濃さではなかったんだなあ。。。

そと、濃くするには好程度(度)の白さ。余日も大事

で、日時向、空向：自分の余日おたいたえのそ。

つくりたいとなあ。とも思った。

あと、今日を通り、(2)じ 家に住む人 = <sup>私の仕事場</sup> 家の方か

仕事場か学校に行ったり帰る中で

どこに Home をかかいるのか定になるなる

1

**HOME**  
in Tokyo

Date: 2019 / 9 / 28

Name: 中野真実

自分の関心や興味をこのように映像に  
残していくかという課題で、2週間  
様子を見て残したり、又稿をいれずには  
おめたりしていった中で、自分自身の経験  
からこの解釈を急ぐ癖があることに  
気がつきました。普段の仕事の時のように  
目的や課題を設定して、その活動に  
するためのプロセス、Mind wondering を  
繰り返すから、心をやわらかくしたりから  
リサーチを通じて様子を見て意見を述べて  
思っています。